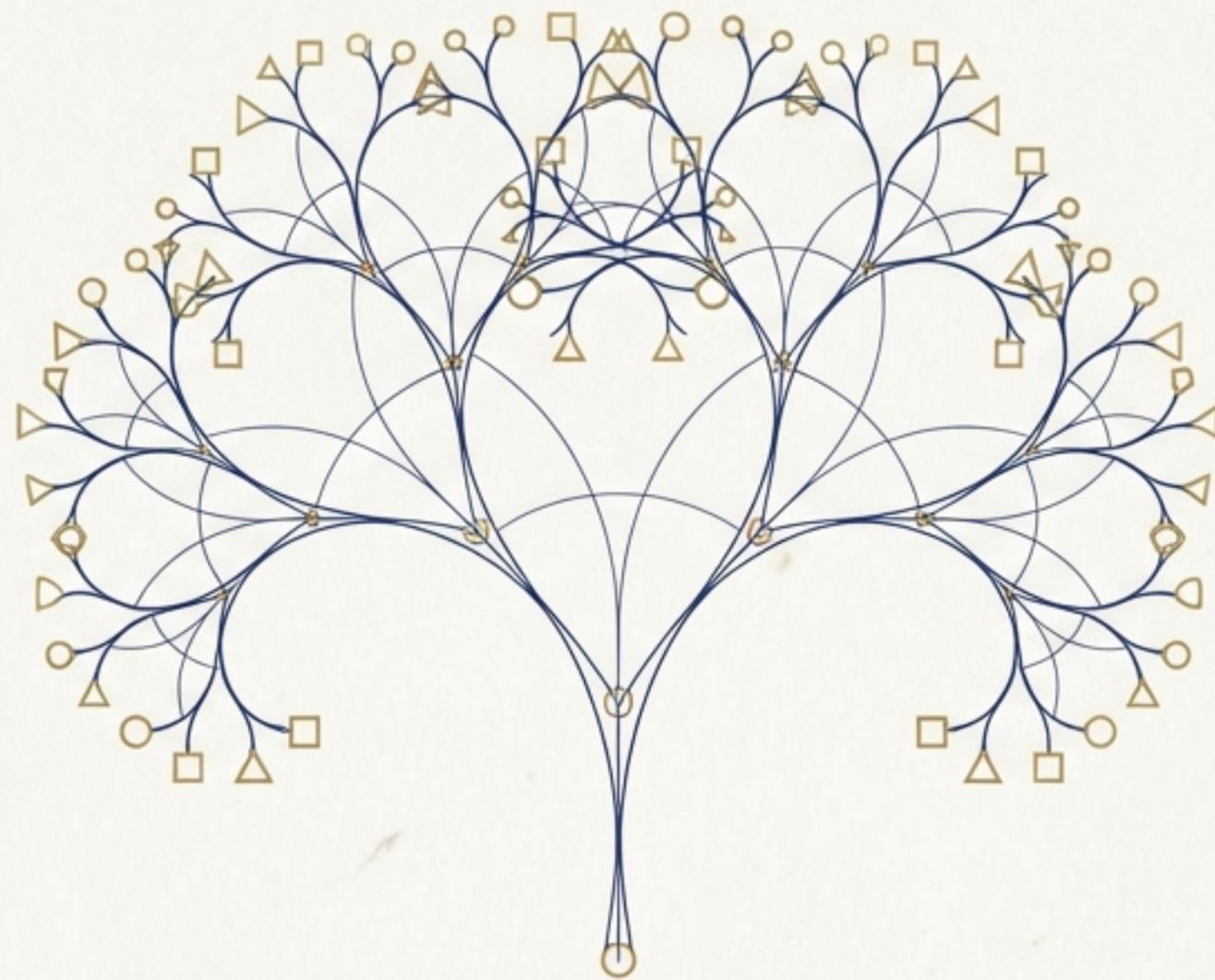
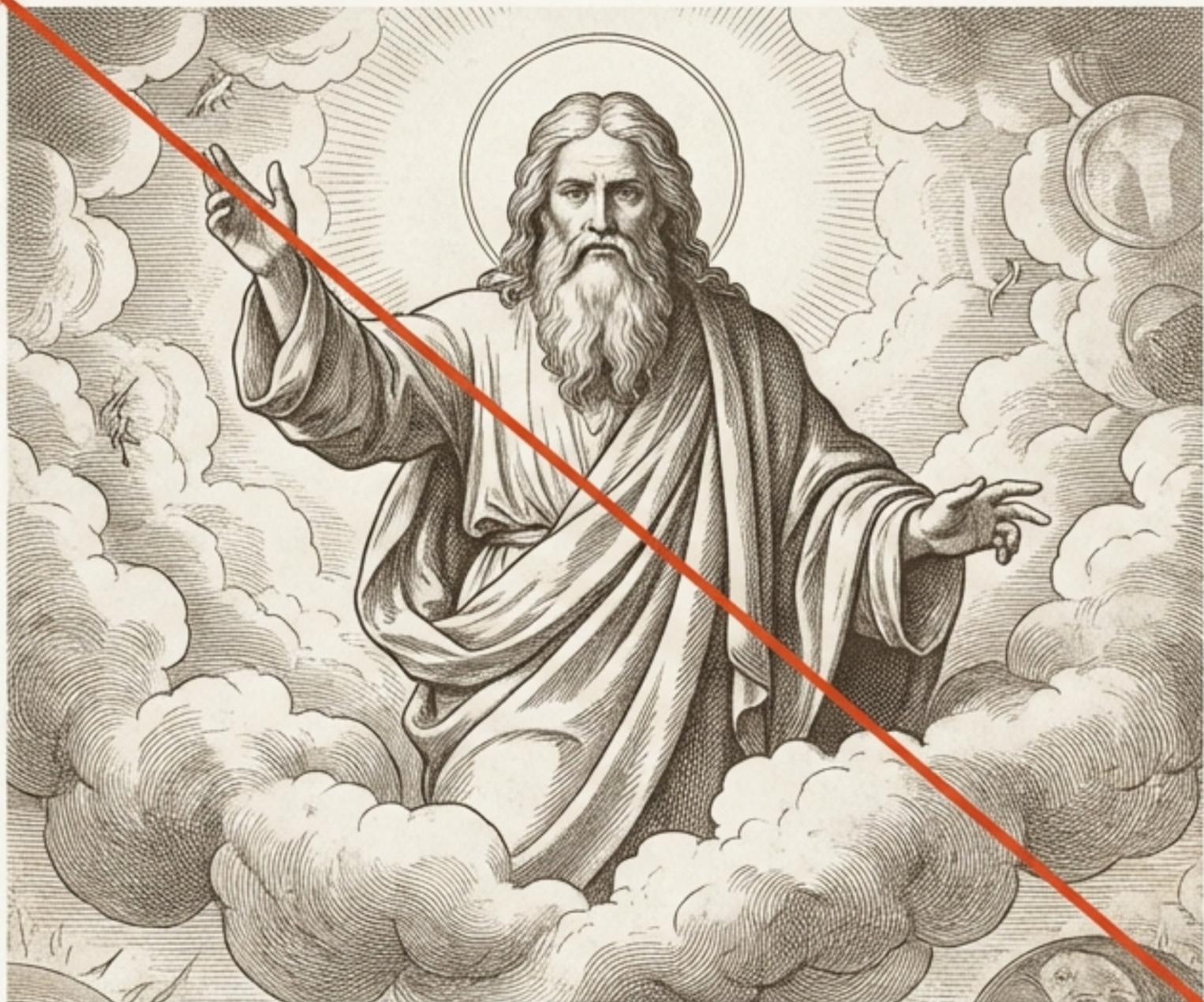


誰も知らない「神の物語」

宇宙のはじまりから人類の未来までを解き明かす、壮大な6000年の「家族のドラマ」

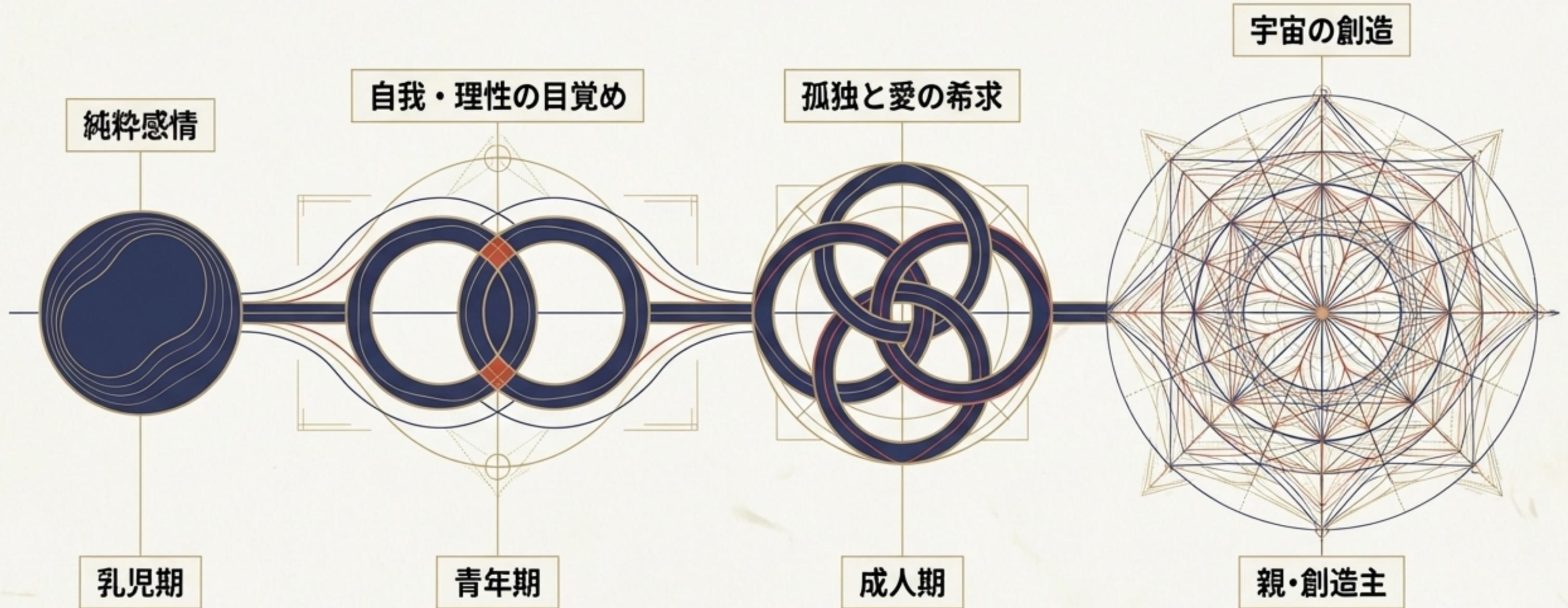


「神様」は、最初から完璧な存在ではなかった。

宇宙は魔法のように創られたのではない。それは「純粹感情」として生まれ、成長し、孤独を知り、愛を求めたひとつの意識の進化の▲の産物だった。

神様の成長プロセスと、天地創造の本当の理由。

神様にも「幼少期」があった。無限の愛を分かち合う「パートナー」と「家族」を求めた強烈な切望こそが、この宇宙を生み出したビッグバンの原動力である。



天使と人間は「異母兄弟」である。

宇宙の真の相続者は人間（弟）だった。先に生まれた天使（兄）は、人間を育てるための「霊的な保護者」としてデザインされていた。



天使（次郎）



人間（太郎&花子）

誕生順: 兄（先に誕生）

誕生順: 弟妹（後に誕生）

身体: 霊体のみ

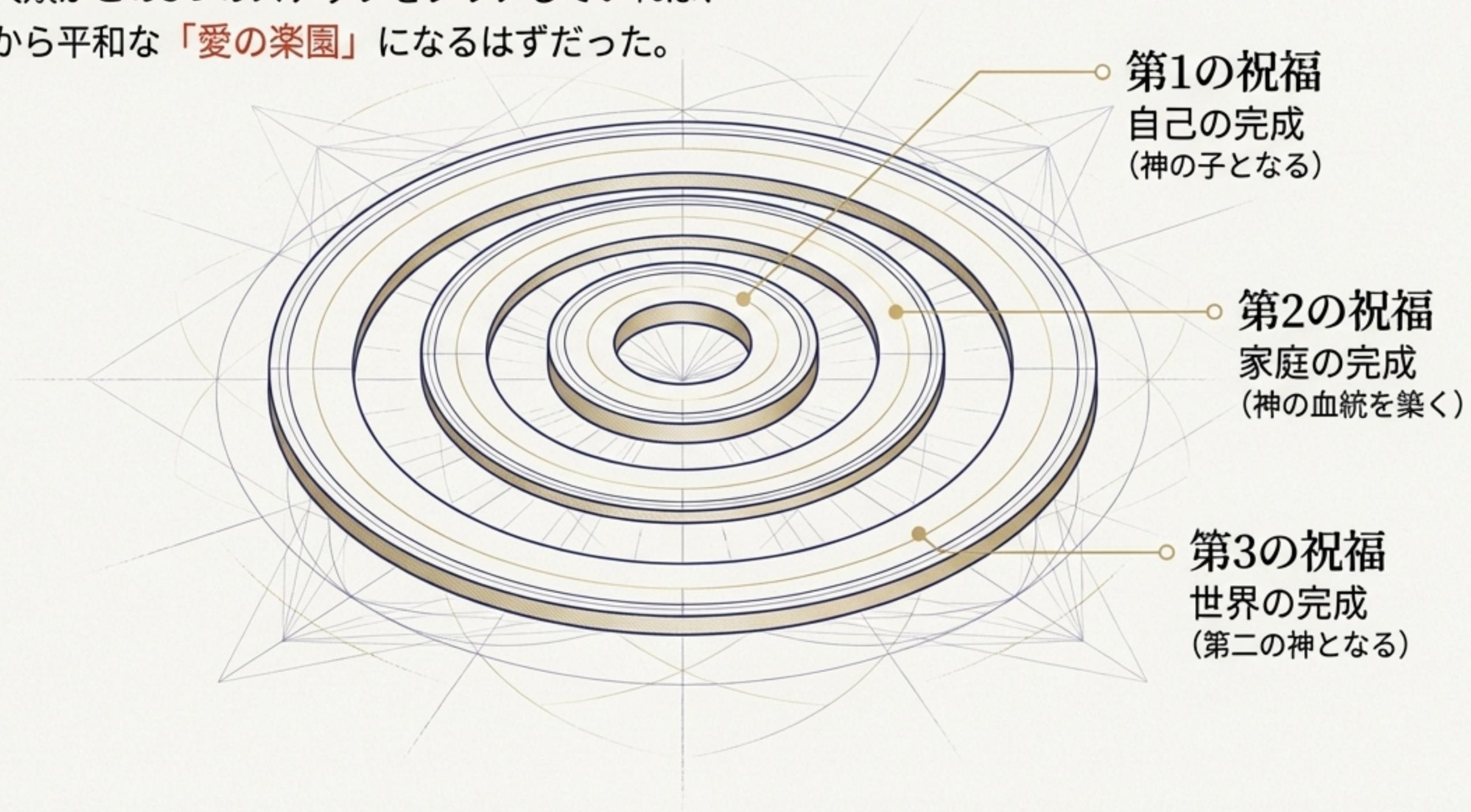
身体: 霊体 + 肉体

役割: 養育者・保護者

役割: 宇宙の最終相続者

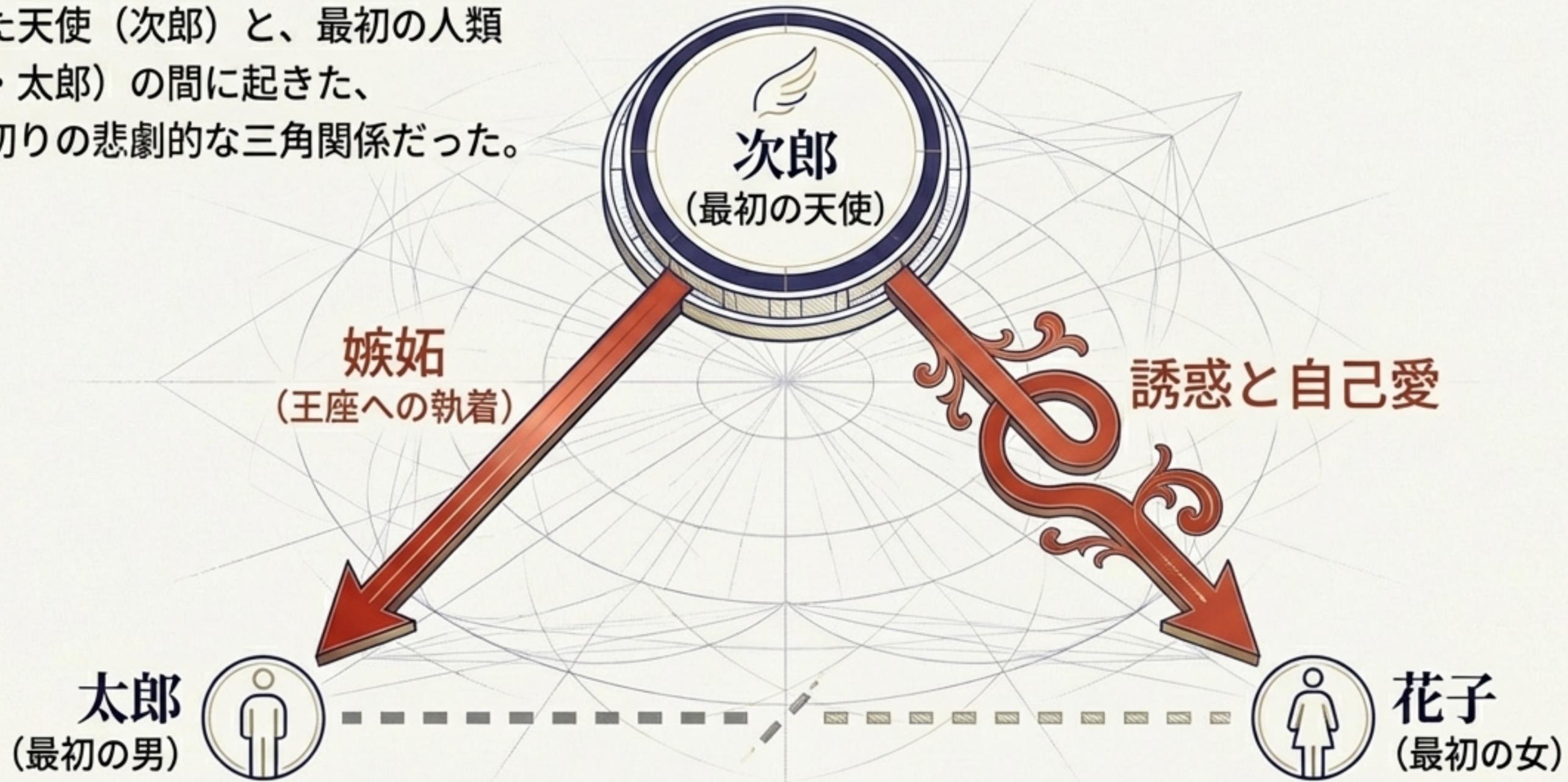
天地創造のブループリント：「三大祝福」。

もし最初の人類がこの3つのステップをクリアしていれば、地球は初日から平和な「**愛の楽園**」になるはずだった。



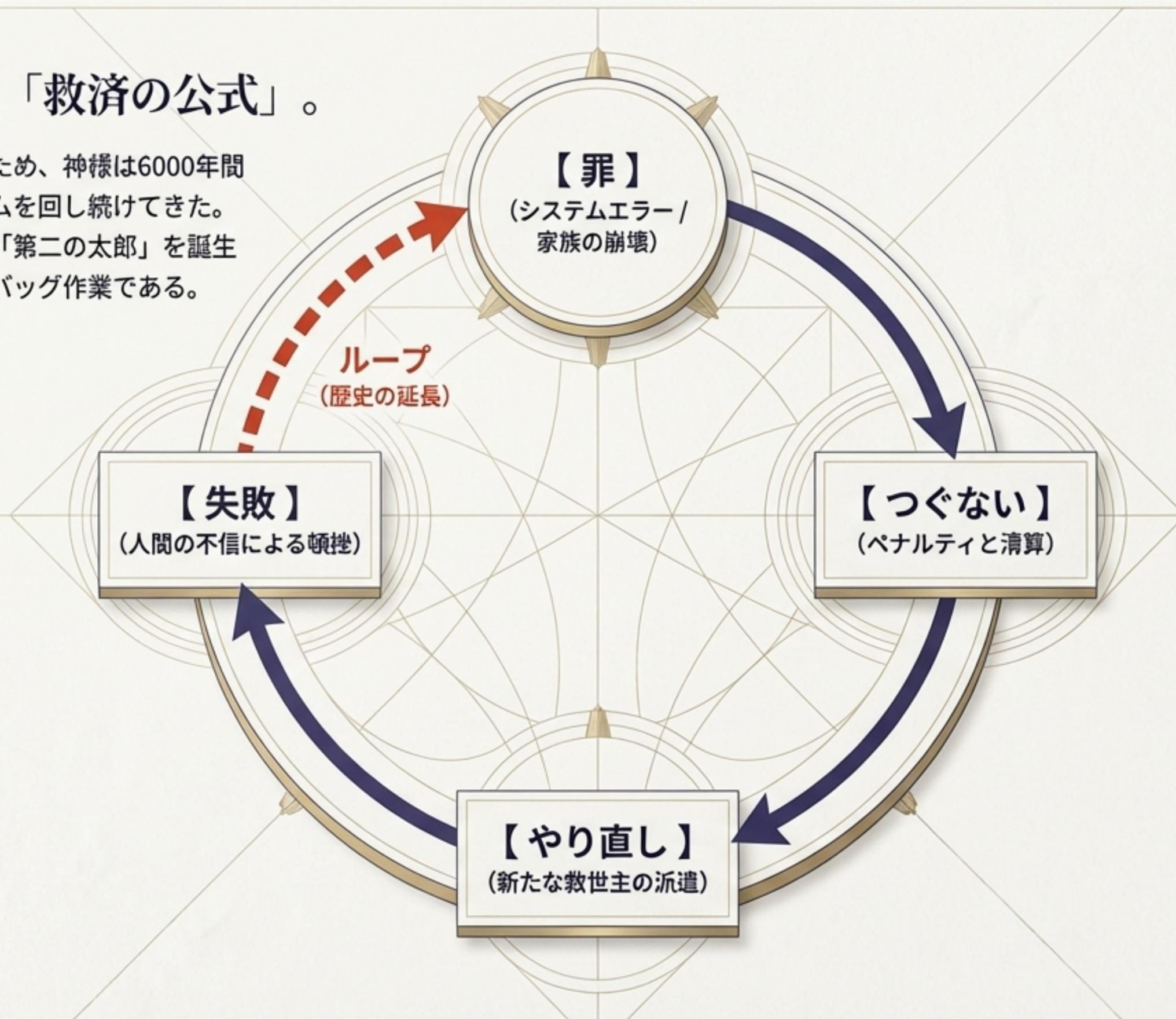
悲劇の始まり：エデンの園の「本当の事件」。

リンゴを食べたのではない。それは、王座を奪われることに嫉妬した天使（次郎）と、最初の人類（花子・太郎）の間に起きた、愛と裏切りの悲劇的な三角関係だった。



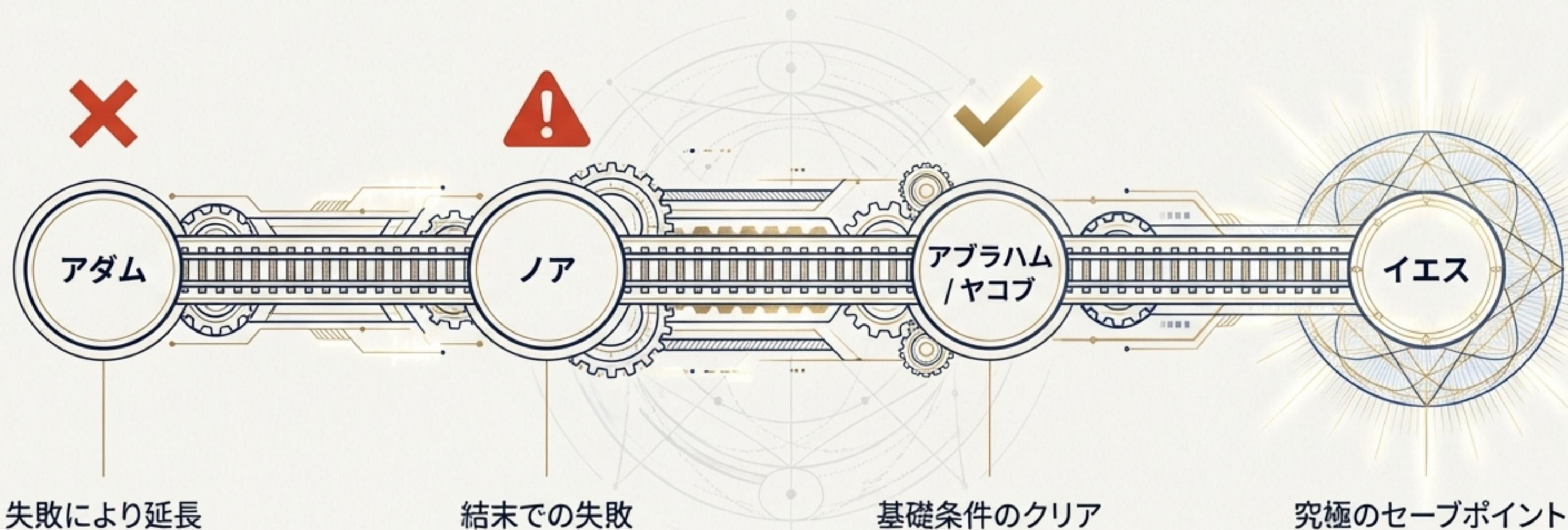
歴史を動かす「救済の公式」。

最初の家族が失敗したため、神様は6000年間「やり直し」のシステムを回し続けてきた。人類の歴史とは、真の「第二の太郎」を誕生させるための壮大なデバッグ作業である。



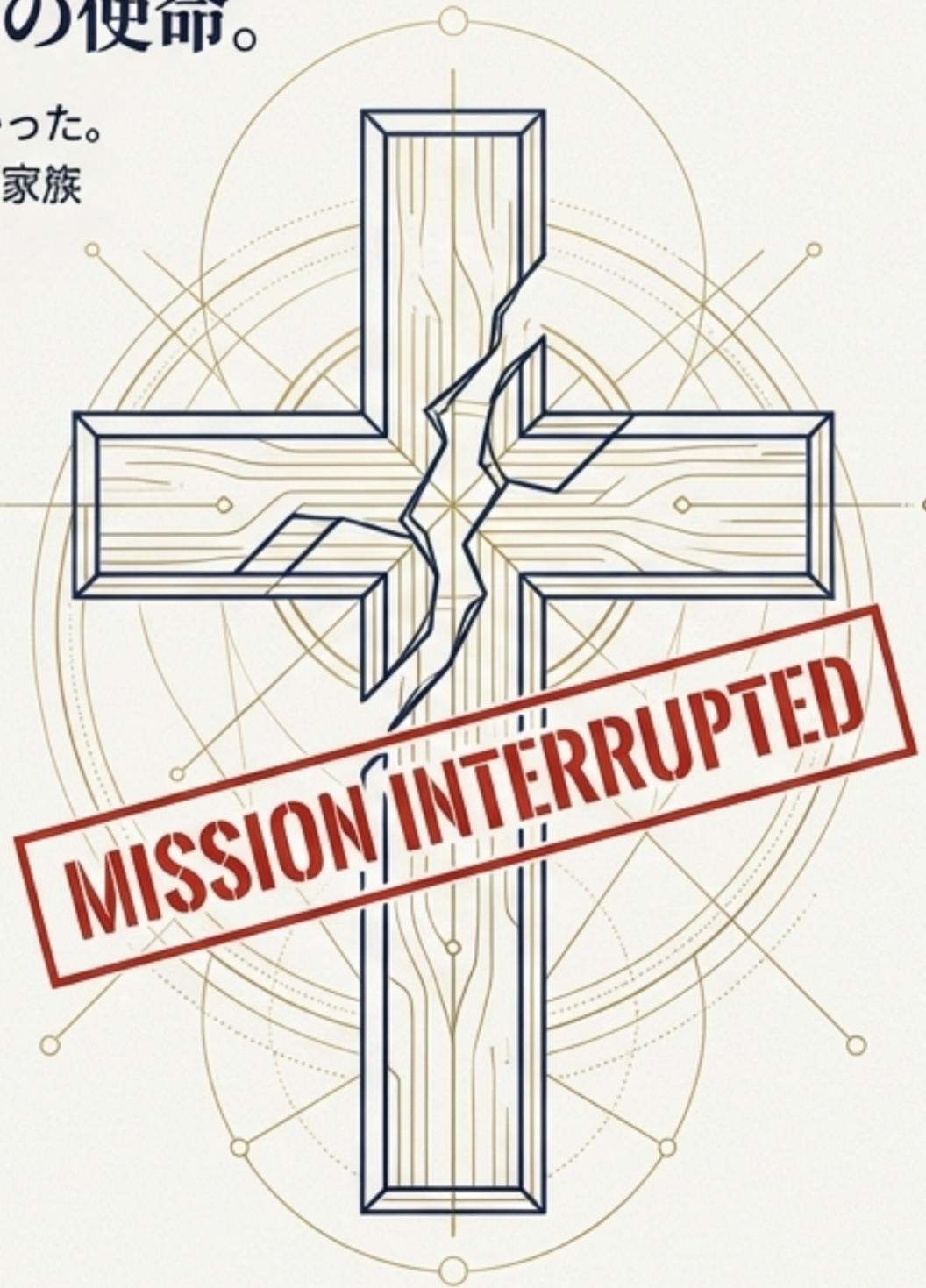
セーブポイントと、やり直しの歴史。

神様は魔法で歴史を修正できない。人間の自由意志を通して「条件」をクリアする必要があったため、キーパーソンが失敗するたびに歴史は数百年単位で延長された。



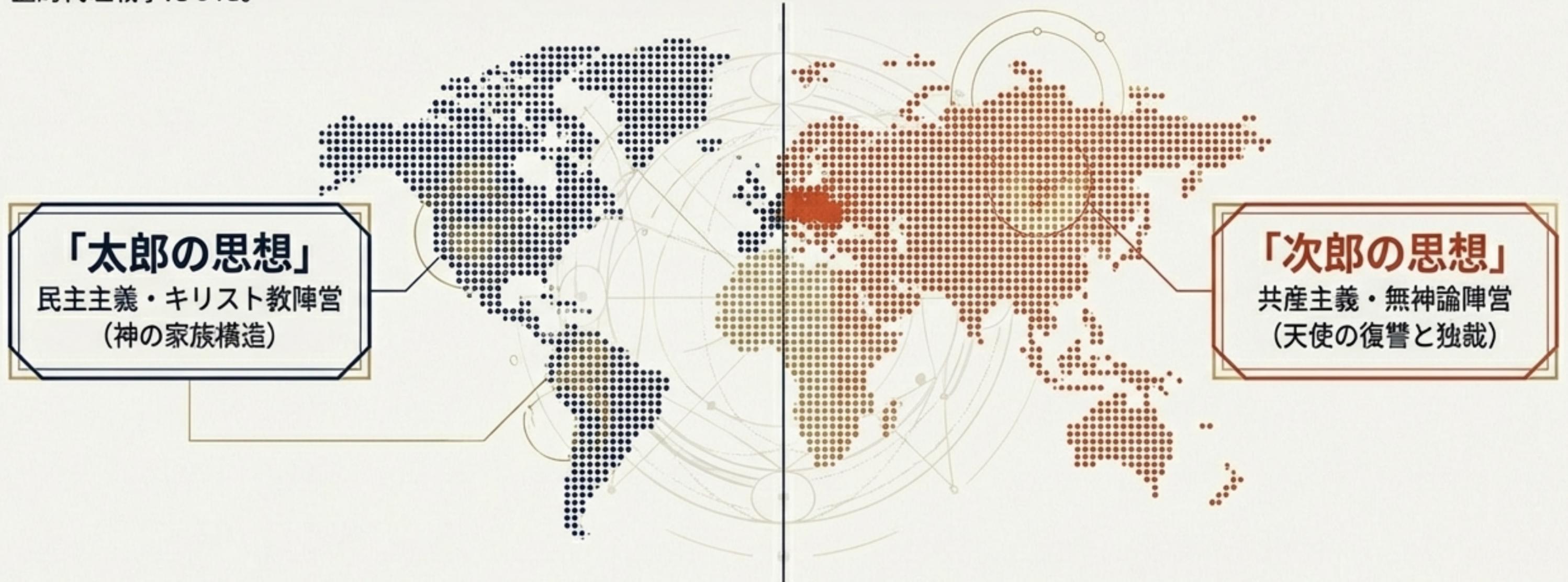
イエス・キリストの本当の使命。

イエスの使命は「十字架で死ぬこと」ではなかった。彼は「第二の太郎」として生き、結婚し、真の家族を築くために来た。十字架は、人々の不信が招いた悲劇的な「計画の頓挫」であり、人類に人類に2000年の追加ペナルティをもたらした。



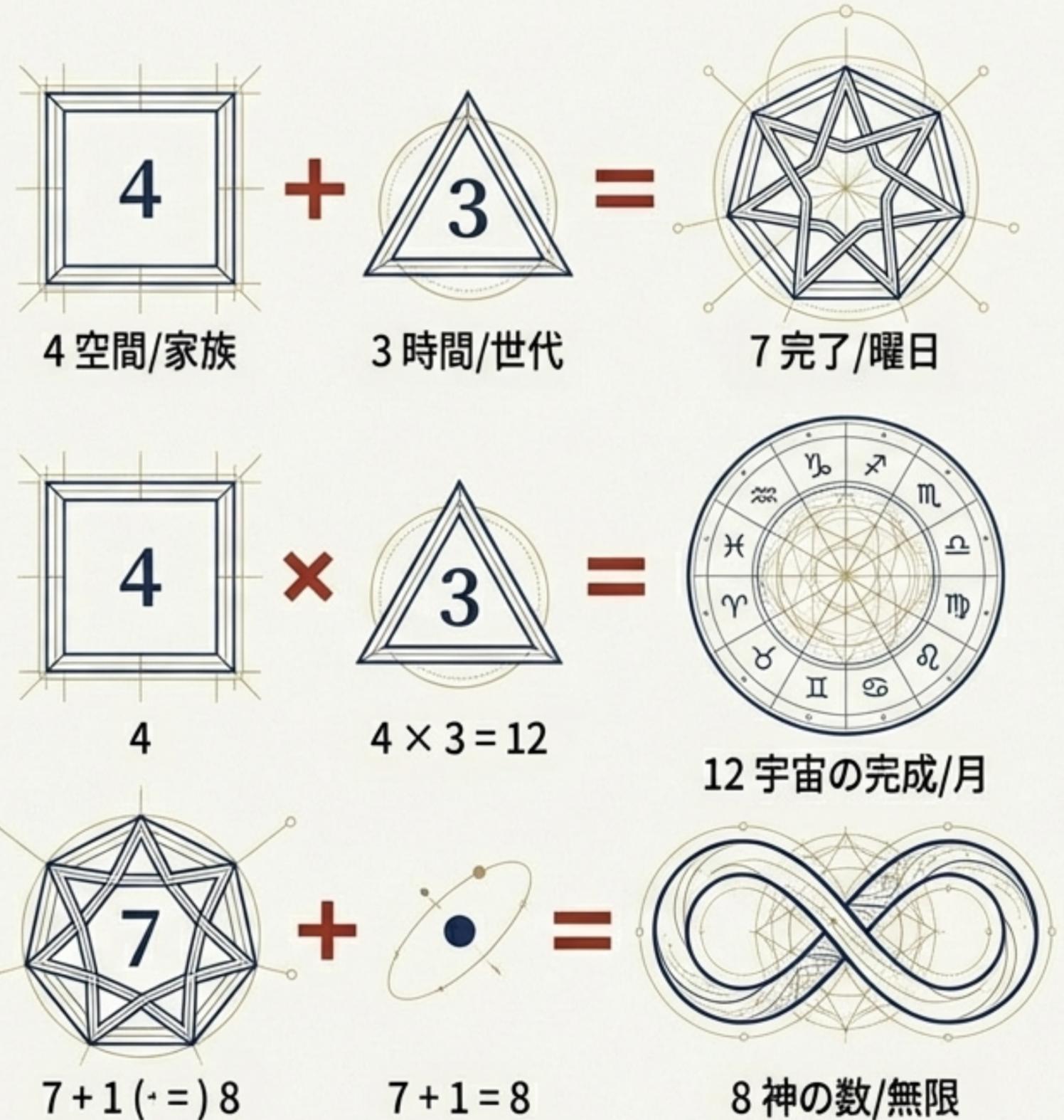
20世紀の冷戦：太郎 vs 次郎の最終決戦。

激動の20世紀は、単なる政治闘争ではない。「神の家族構造」を築こうとする陣営と、神を否定し労働者（天使）の独裁を企てる「次郎（サタン）の思想」との、世界規模の霊的代理戦争だった。



宇宙を貫く「数理性のコード」。

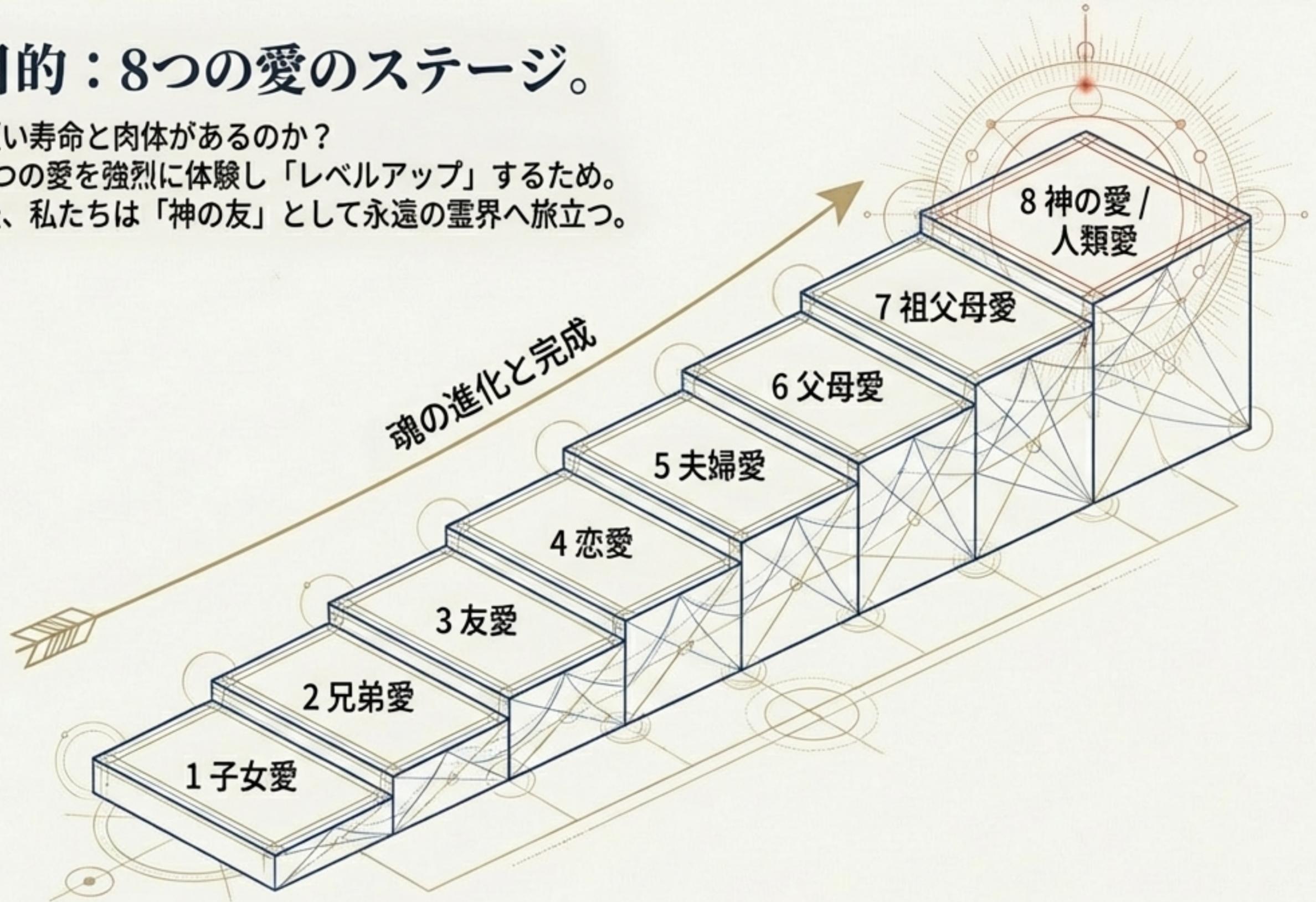
1週間が7日であり、1年が12ヶ月であることは偶然ではない。森羅万象の構造には、神様の心の形と家族構造の数学的コードが完全にプログラミングされている。



人生の目的：8つの愛のステージ。

なぜ人間には短い寿命と肉体があるのか？

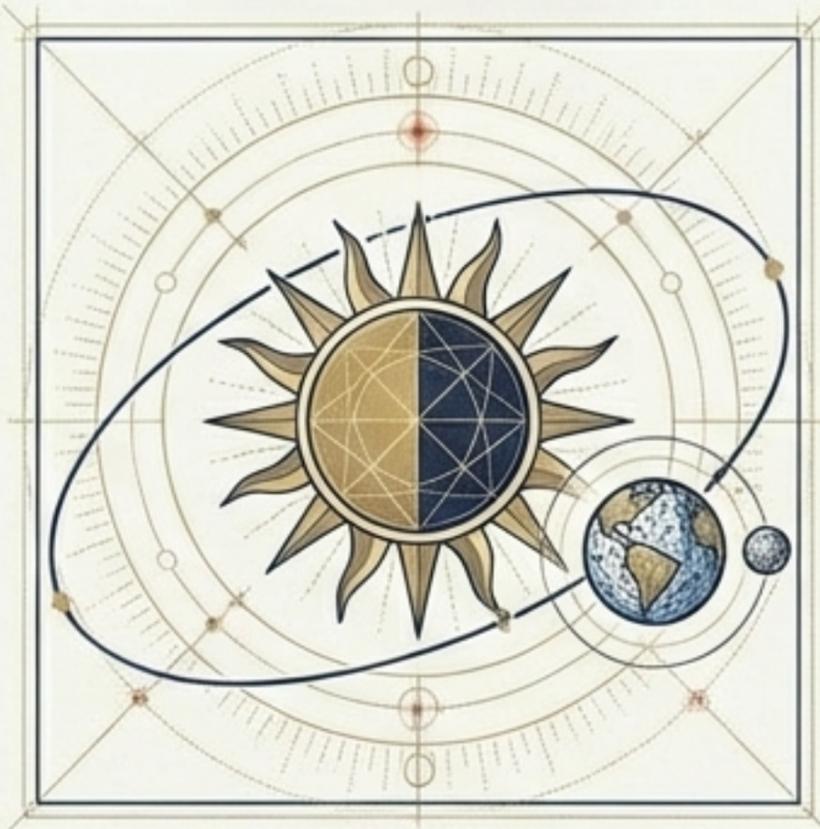
それは、この8つの愛を強烈に体験し「レベルアップ」するため。
肉体を脱いだ後、私たちは「神の友」として永遠の霊界へ旅立つ。



宇宙の構造はすべて「家族」のフラクタルである。

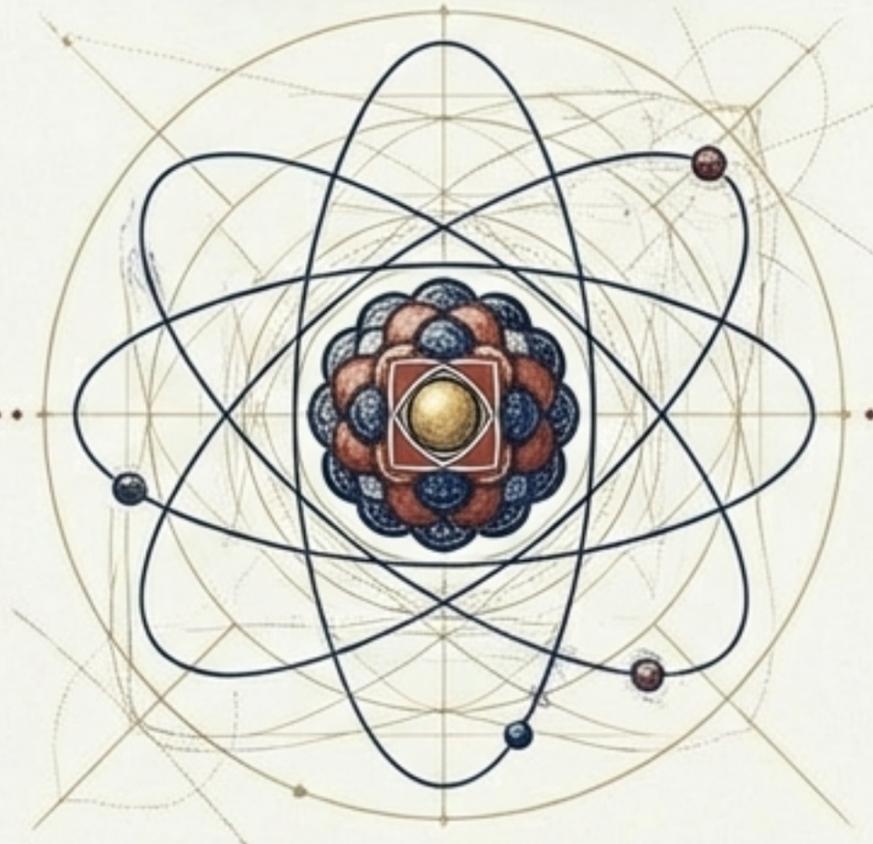
太陽系からミクロの素粒子まで、神様はすべての物理法則を「愛と家族の構造」の相似形（フラクタル）としてデザインした。宇宙のすべてが、あなたの一生とリンクしている。

マクロ：太陽系



太陽=神
地球=人間
月=天使

ミクロ：原子構造



原子核=中心
電子=周囲を回る存在

人間：家族単位



親=家庭の中心
子=周囲を回る愛

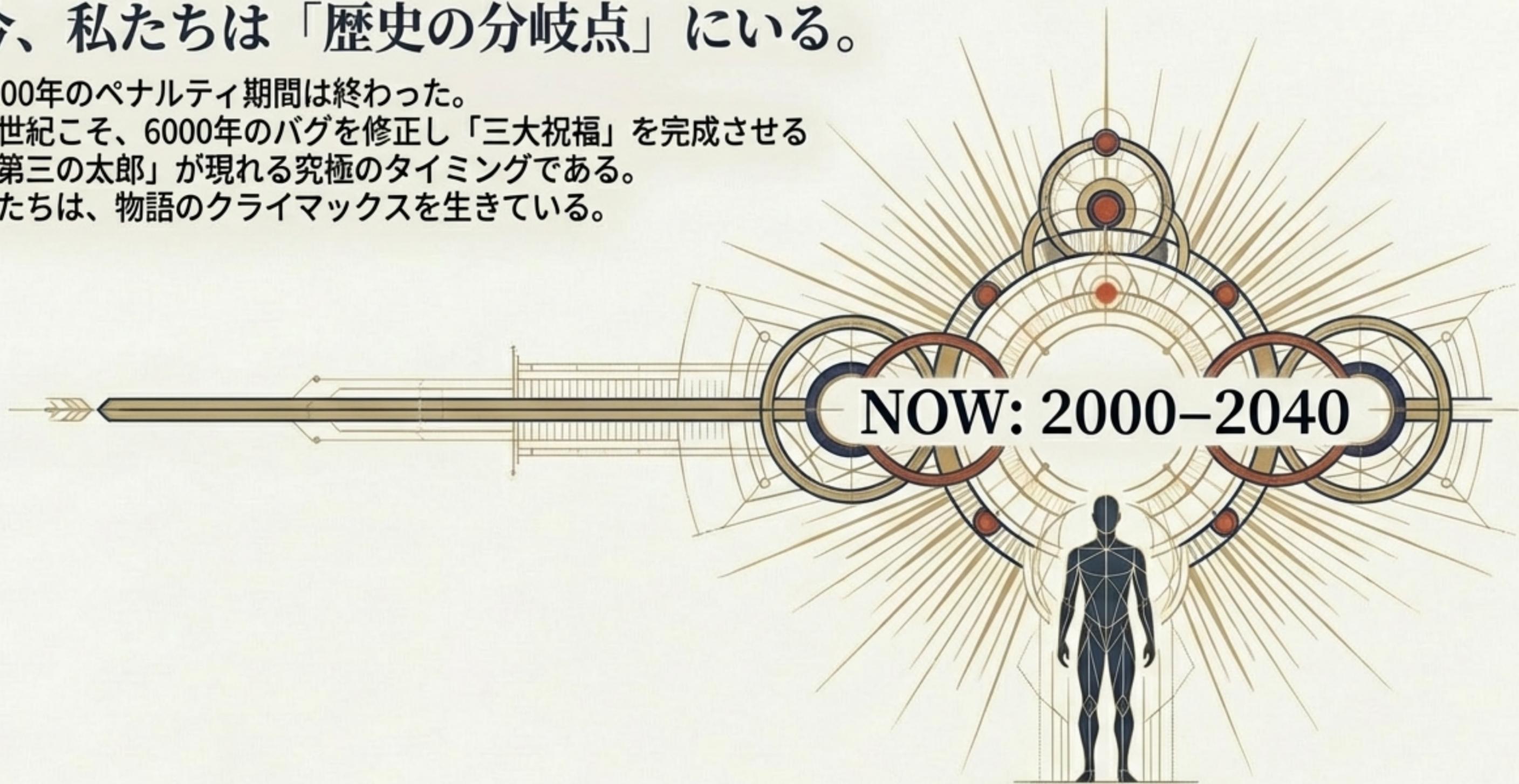
今、私たちは「歴史の分岐点」にいる。

2000年のペナルティ期間は終わった。

今世紀こそ、6000年のバグを修正し「三大祝福」を完成させる

「第三の太郎」が現れる究極のタイミングである。

私たちは、物語のクライマックスを生きている。



第三の太郎の時代

宗教の枠を超えた、 まったく新しい「神の物語」。

あなたが今見たものは、壮大な物語のほんの
「予告編」に過ぎない。

ヨハネの黙示録の暗号、人類歴史の真実、
そしてあなた自身の人生の意味を完全に
解読するために——

本編のページを開いてください。

『神の物語 入門 ～神の誕生から人類の未来まで～』 関根一志 著

